

ともしび通信

6月24日(日) AM10:30~12:00

I. 教会設立31周年記念礼拝



主題 いのち-生きるカ-

講師 かけとくほ 鹿毛 独歩 牧師

(港北ニュータウン聖書バプテスト教会)

II. セミナー14:30~16:00 : 聖書と福祉

鹿毛 独歩 (かけとくほ) 先生プロフィール

1965年、福岡市生まれ 高校3年生の時に信仰告白、バプテスマ。日本福祉大学 社会福祉学部卒業。6年間、知的障がい児施設指導員・相談員。日本バプテスト聖書神学校卒業。港北ニュータウン聖書バプテスト教会 牧師。玉川聖学院元PTA会長、現在評議員。NPO「五つのパン」理事長。日本バプテスト聖書神学校 教師。JBBF 海外宣教委員。横浜市手話技術認定通訳者。介護ヘルパー2級取得者。

町田バプテスト教会

町田市つくしの2-31-4 【TEL】042-796-3822

集会のご案内

教会の詳細はホームページでもご紹介しています。

www.ne.jp/asahi/machida/church/

日曜礼拝

多忙な日々の中で、うつむき加減になっている顔と心。天を仰いで生きる元気を取り戻して下さい。

毎日曜

I 礼拝 10:30~11:45

II 礼拝 16:00~17:00



教会学校

幼児から大人まで、クラスに分かれて聖書を学んでいます。どの世代にあっても聖書の学びは生涯の道しるべとなります。

毎日曜 9:00~10:00



水曜礼拝・祈り会

週の半ばの夜、静かに神を礼拝し、メッセージに耳を傾けます。講解説教で順番に学んでいるので聖書を深く知りたい方に最適です。

毎水曜 19:30~21:00



壮年会

壮年会では聖書の学びと、賛美集会や教会カフェ、日帰り温泉などサークル的な活動もあります。

毎月第2日曜

13:30~15:00



婦人会

日曜午後の集いは個々に抱えている課題を話しあい、喜びも困難も分かち合う、穏やかなひと時です。

毎月第2日曜

13:30~15:00



青年会

大学生から社会人まで、月1回、ともに集まり賛美をし、語り、励まし合い、祈りあう集いの時です。

毎月第2日曜

13:30~15:00



子育てサークル・ハンナの会

ハンナの会は子育てに疲れたり、悩んでいるお母さんに元気を与える会です。お子さまはお預かりしますのでゆっくりお話しができます。体験してみませんか。

毎月第3火曜

10:30~13:00 昼食付



トールペイントサークル

賛美とメッセージの心穏やかなひととき。色とりどりの花を描きながら心を解放するひととき。お茶を飲みながら語らうひととき。自然なことばが気持ちいい!

毎月第1水・金曜

10:00~12:30



木曜婦人集会

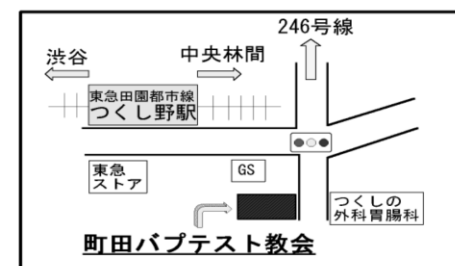
家事、育児、仕事に忙しい女性たちがありのままの自分でいられる場所。聖書から希望をあたえられ、はげましあい、明日への指針を手にする、あなたの時間です。

毎週木曜 10:30~12:00

第2木曜は婦人礼拝



- どの集会も参加自由です。気軽にお越しください。
- 質問や相談ごとはどんなことでもお尋ねください。
- 送迎の必要な方は、ご遠慮なくお申し出ください。
- 町田市つくし野 2-31-4
- TEL&FAX 042-796-3822



編集後記

「ともしび通信69号」をお届けします。町田バプテスト教会は、6月に設立31周年を迎えます。設立記念礼拝には港北バプテスト教会の鹿毛 独歩牧師をお招きします。先生はいじめや虐待のない街づくりをテーマに伝道を展開され、弱者の方々の心の拠り所となることに励んでおられます。午後はセミナーもあります。どうぞご期待下さい。



単立 町田バプテスト教会

□町田市つくしの2-31-4

□042-796-3822

□<http://www.ne.jp/asahi/machida/church/>

□mail : machida@church.email.ne.jp

「生きる力」はいつから来るのでしょうか

牧師室より 松本俊雄 牧師

人は「死にたくない」「生きていたい」と、どんな時に思うのでしょうか。それは、生活の中に「喜び」や「楽しいこと」があるからではないでしょうか。もちろん、この意味は人生すべてがいつも「喜び」や「楽しいこと」があるだけでなく、今は困難でも何時かそうなる事が信じられるなら、それを希望に生きることが出来ます。しかし、今も将来もまったく自分の人生に、何もよい事がないと思えてしまうなら、生きることは重荷であり、苦痛になります。



私は青年時代、人生にすぎず、すべてが灰色に見える、自分一人の世界に閉じこもり「死ぬこと」ばかりを考えて過ごしました。しかし、教会に来て聖書の「人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つの言葉によります。マタイ4・4」ということを聞きました。「神の口から出る一つ一つの言葉によります」とは、聖書に記された「神の愛と赦し」の言葉を信じて「人との関係の中に生きる」と「その中から「喜び」や「楽しいこと」が生まれ、明日も生きたいという、力が湧いて来ます。人は一人になつては、内側からは「生きる力」は出て来ませんが、日々「神の愛と赦し」に基づいた幸いな隣人との関係「から「生きる力」を頂き続けています。

計画とは違った道にめぐる喜びと感謝

子どもの頃の私は、「将来仕事をする時、教員だけには絶対にならない」と強く決めていました。19歳でキリスト者になりましたが、「牧師には絶対ならない」と決めていました。大学を卒業してから7年間機械工場で、品質管理の仕事をしました。その仕事に不満はありませんでしたが、神の愛が少しずつわかって来て、一生仕事をするなら物を相手にするのではなく、直接人を相手にする仕事をしてキリストの愛を証したいと思うようになりました。そこで、通信教育で教員免許を取り29歳で小学校の教員になりました。その後、不思議な導きで牧師になる道が開かれ、35歳からこの町田の地で家内と2人で伝道を始めることになったのです。



教員と牧師の働きはなかなか大変でしたが、家内と教会の皆さんの助けにより続けることが出来ました。31年間続け60歳で小学校の教員を定年退職しました。そして、さあ、これから牧師専従と聞いていたら、1年後保育園の働きが与えられました。自分の計画していた人生の道とはだいぶ違っていきますが、毎日喜びと感謝を持って過ごしています。

私的映画批評 「ブルース・オールマイティ」 二〇〇三年米作品 松本勇哉

突然ですが、困った時どうしますか？今回は、何をやってもうまくいかないブルースが、神様に「何でうまくいかないんだ、怠慢だぞ！」と悪態をついたところ、「じゃあお前がやれ！」と全能の力をもらい神様の代わりをする、というコメディ。中でも一番ドキッとしたのは次のシーン。全能の力をもらったブルースは、人の「祈り」が聞こえてくるようになる、「祈り」のうちの「お願い」を聞くか聞かないか決めることになる。



その多さに困ったブルースは、「お願い」を黄色い付箋に書いて貼ることにしたのだが、家の中が付箋だらけになってブルースの姿も見えないくらいになってしまふ。「祈り」はお願い「だけじゃなくて、喜びもあれば感謝もあるはずで、そっちの方が人生多いような気がするのだが、自分の胸に手を当ててみると、恥ずかしいながら黄色い付箋に書かれてしまふような「お願い」が多い・・・気がする。ドキッとしてしまった時点で反省です。アメリカには「困ったときの神頼み」ということわざはあるんだらうか？まあこの映画を見る限り、あるんだらうな。

友人会リレー

アナタに出会えて嬉しい



「お友達になつてもうえませんか。」

松本博美

大学の入学式の翌日、わたしは平井さんという人から声をかけられました。驚いた私に彼女は「高校時代とは違うまじめな人と友達になろうと思つてずっと見ていたの」と。新しい環境に戸惑い、ポツンと座っている私に真面目に見えたのでしようか。彼女は私とは正反対で活発で行動力がありとても明るい聡明な人でした。私は中学も高校も自分に合う人と二人の静かな付き合いが好きで、なんで私に声がかかるのか不思議でした。

気づいたら二人ではなく三人の仲間が出来ていて、私は今まで経験したことのない世界にいました。食べ歩きツアー男女6人の遊びの企画など、三人の息はぴったりで楽しい仲間になりました。「へえー、三人も楽しいじゃん。」違う人に合わせるのも、面白いじゃん。」彼女に出会って（真面目？だった）私の皮が一枚むけました。食わず嫌いということばの通り、試してみないと真実が分からないことがあります。私はイエスさまに出会った時この神様と一緒に生きてみたいと思いました。今はこれが本当の私の姿？と変えられたことに驚いています。

青年会リレー

今のキミを忘れない



あなたの歩むべき道

松岡亮佑

みなさんには思い出したくない過去はありますか？人それぞれだと思いますが、辛い過去だということは共通して言えると思います。私にも、中学の時に人生を狂わせるようなことがありました。

実際にその影響で私は、「心」を失いました。それから「自分は何で生まれてきたんだらう」と考えるようになったのです。高3のある日、私は子供と遊ぶ機会がありました。

その時ふと「自分の経験したことは、自分のためではなく、子供のために生かすべきではないのか？」という考えが浮かびました。伝道者の書3章11節に「神のなさることは、すべて時にかなって美しい」とあります。辛い過去、あるいは今起きている辛い出来事をもう一度見つめなおして見よう。今は見えなくともいつか絶対に、美しい勲章のように見える時が来るはずと思えるようになったのです。その後、私は進路を変更。現在は親元を離れ、地方の大学で児童福祉向けの科学技術の開発を目指しています。心を失う出来事が私の人生の進路を導いてくれたのです。「あなたの歩むべき道にあなたを導く」(イザヤ書48・17)。主に感謝です。